

学校評価報告書

深谷市立常盤幼稚園
園長 白井 裕一

- 1 学校評価のねらい (園としての受け止め)
園としては、学校教育法・学習指導要領に従って、園の教育目標達成に向け園の経営に努力し改善に努める。その運営において、保護者の意向を大切にしながら、地域との連携・協力による開かれた幼稚園となるように努力していく。また、職員の意識を高め、自らの保育活動の質を向上させていくことも、ねらいとして実施。
- 2 評価の方法 (自己評価・学校関係者・第三者評価の別、回数、方法等)
職員による自己評価・保護者による関係者評価を実施している。
回数は、年2回、アンケートを実施している。
- 3 評価の結果
 - (1) 主な指標の変化
教育課程の視点
「幼稚園に行くことを楽しみにしている」が98%であった。
「ありがとうと言える」は、2回とも90%超えであった
教員育成の視点
「子どもたち一人一人を大切に指導している」は、95%であった
「健康・安全に配慮し指導しているか」は、2回とも98%であった
開かれた園運営の視点
「幼稚園職員と相談しやすい」は、2回とも90%であった
「保護者・地域との連携を大切に・・・」と感じている保護者が94%であった
 - (2) 学校教育目標の具現化に向けた指標
 - ・ 幼児と職員の信頼関係が成り立っており、保育が充実している
 - ・ 保護者との信頼関係においても、相談しやすいが90%で信頼関係が成り立っている
 - (3) 学校研究課題の具現化に向けた指標
 - ・ 「豊かな心と健康な体の育成」という目標において、「健康・安全に配慮した指導」では98%、「早寝早起き」は90%を超え、読聞かせや戸外遊びに対しても、90%を超えていた。
- 4 次年度に向けての展望
「小学校との連携」を中心に計画を進める。